



令和5年3月13日から『マスク着用は個人の判断が基本となる』というマスク緩和が新たな政府指針案として提示された。マスク着用が推奨されるのは、①通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する場合、②受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する場合、③重症化リスクが高い人（高齢者・基礎疾患を有する人・妊婦）が感染拡大時に混雑した場所に行く場合の3項目である。5月8日の新型コロナウイルスの5類もどきへの移行に先立つ対応といえる。

新型コロナウイルス感染症により、引きこ

マスク着用の推奨と効用

—マスク緩和をめぐって—

情報広報部長

橋本

洋一

もりの増加、人事交流の減少、生活困難者の増加等社会に多大な変化をもたらした。

新型コロナウイルスの流行とともにマスク着用が推奨され、広がる中であって、マスク着用を徹底しないで見られると、地下鉄や歩行中に白い目で見られることが多くなってきた。アレルギー性鼻炎で呼吸困難感を一般の人たちより感じ、マスク着用が積極的でなかった私も同調圧力に屈して、一人で自分の部屋にいるとき以外は着用を遵守するに至った。同調圧力に日本人は弱いとよくいわれるが、同乗者のいない車を運転しているドライバーがマスクを

着用しているのを見るにつけ、さすがの私も苦笑してしまった。マスク着用の本来の目的が正しく理解されることなく着用されていることに驚いた。しかし、よく考えてみると私たちが日常生活を送る中で行動形態が本来の目的から遊離した形で無意識のうちに習慣化してしまうことが意外に多いのかもしれない。マスク着用が推奨されて3年以上になるが、3年前に入学した高校1年生の顔を担任の先生や同級生が一度も顔全体を見ることがなく、卒業してしまう可能性が指摘されている。こういったことはもちろん高校生だけに限定されたものではなく、高校生以外の学生たち、テレワークで職場に行く頻度が激減した人々にもいえることだ

ろう。

豊橋技術科学大学の実験値データによると、マスク特に不織布マスクが感染防御に一番優れていて吐き出し飛沫量が20%、吸い込み飛沫量が30%に抑制されるらしい。こういった事実で立脚してマスクが、感染防御に有用だとされてきた。ウイルスが変異し弱毒化していると考えられる一方で、昨年11月頃より感染者の増加を招いた第8波で死亡者数が最大になったと報告された。今回のマスク着用緩和措置に対して、遅すぎたという意見、中途半端であるとの意見、そしてそれなりに妥当

であるとの三者三様の意見に分かれる。

2泊3日の小旅行に誘われ、鞍馬山に登ることになった。実に1999年以来23年ぶりのことである。地下鉄で国際会館駅で降車し、電車に乗り換えて鞍馬駅まで行き、そこから山門駅に徒歩で向い、山門駅からケーブルカーに乗って多宝塔駅に着いた。鞍馬寺を見学した後、天狗の面（マスク）を購入し、貴船神社に降りていくコースを選択した。コロナ禍でここ3年ほど、登山らしい登山もしていなかったために筋力低下が顕著であったが、あまり急な山道は少なく、比較的穏やかな勾配には正直の所、拍子抜けした。鞍馬寺は奈良時代の770年、鑑真和尚の弟子である鑑禎上人によつて開かれた。鑑禎が鞍馬山で鬼に襲われ京都の北方守護にあたる毘沙門天に助けられたとの寓話が残っている。鞍馬寺には天狗の総帥である魔王尊という秘仏が祀られていて、牛若丸（後の源義経）が幼少期に鞍馬寺に預けられた際に、鞍馬天狗から武術を教わったとされる跡が僧正方谷に残されている。白馬にのり、ピストルを自由自在に打ちまくって新撰組と戦う勤王の志士鞍馬天狗は、宗十郎頭巾で顔を覆い、縦横無尽に京都のあちこちに出没し、来たるべき未来に命をかけた。

マスクの効用として感染防御とともに、次の新しい時代を育んだ正義のヒーローの存在を下支えする原動力があげられる。毎日、マスク美人との出会いがあつて、心弾む気持ち喚起してくれるのも、3番目の効用かもしれない。